

奨励賞

C地区:学校(大学)、劇場(音楽ホール)、展示場(ギャラリー)、事務所 / B地区:学校(大学) /
A地区:学校(大学・高校) / 京都府京都市

京都市立芸術大学・京都市立美術工芸高等学校



設計担当者 乾 久美子

京都市立芸術大学及び京都市立銅駝美術工芸高等学校移転整備工事乾・RING・フジワラボ・o+h・吉村設計共同体((有)乾久美子建築設計事務所)、東京建築士会

共同設計者

郷野正広
百田有希
平岩良之

上條美枝
中原春生
慶 祐一

藤原徹平
佐々木 睦朗
小松 敬

大西麻貴
満田衛資

構造	C地区:鉄骨鉄筋コンクリート造 一部、鉄骨造 / B地区:鉄骨鉄筋コンクリート造 一部、鉄骨造 (E棟)、木造 (F棟)、鉄骨造 (G棟) / A地区:鉄骨鉄筋コンクリート造 一部、鉄骨造 (I棟)
階数	C地区:地上7階、地下1階 / B地区:地上5階 / A地区:地上4階
敷地面積	C地区:15,831.65 m ² / B地区: 6,039.57 m ² / A地区:12,636.38 m ²
建築面積	C地区:10,227.42 m ² / B地区: 2,967.05 m ² / A地区: 8,168.66 m ²
延べ面積	C地区:46,532.59 m ² / B地区: 9,478.11 m ² / A地区:18,285.46 m ²
竣工年	令和5年



C地区 3階制作通り芸大通りの十字路口



ABC地区 南側からの俯瞰



C地区 高倉塩小路交差点からみる

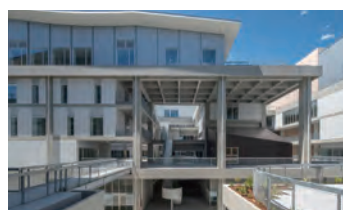


A地区 京都市立美術工芸高等学校中庭



堀場信吉記念ホール

下段
左) A地区 塩小路橋から京都市立美術工芸高等学校を見る
中) C地区 CD棟間から制作通りB棟大きな軒下をみる
右) B地区 高瀬川からEF棟柳原銀行記念資料館C地区をみる



選 評

敷地は京都駅にほど近く、ビルやホテルなどが建つ繁華で密度の高い地区に隣接している。その3つの街区にまたがって建つ都市的なキャンパスである。

設計者は京都の町の伝統的都市構造、つまり軒下のような中間領域が道沿いに向かい合うことにより親密な公共空間を形成し、その奥に中庭を中心とした主要空間が展開するという図式をコンセプトのモチーフとしている。

それを現代的かつ大胆な形で再構成し、複雑で膨大なプログラムを見事にまとめ上げている点が高い評価を得た。設計時における大学や地域住民との協働は綿密に行われ、さまざまな細

かい要求が明快な構造的秩序の中に統一感と変化が共存した美意識を備えながら、何の破綻もなく納められている。またそれがいくつかの設計事務所の協同作業によるものだと聞き、彼らの協働に対する力量の高さも高く評価された。全体構成のみならず、音楽ホールや図書館や工房などの個別空間の設計密度も高く、美しい空間となっている点も特筆に値する。

今後この立地を生かし、多くの人々がこの開かれたキャンパスを訪れ、その交流と刺激の中で活気ある芸術創造の地となることを望んでやまない。

(横内敏人)